

(1面より続く)

アに強い大学、グローバルに対応できる大学にするためにどう取り組んでいくかの戦略が加わると思いますが、これは過去の歴史に拘らずに新しい戦略を立てて、キャリアとかグローバルに強い大学にしていこうとやるのが校格を上げることにあります。そこを中心にして今後の活動を進めていきたい。

なぜかと申しますと、2013年度までに1県1支部体制を徹底して行わなければならない。しかし、その後どう展開して行くのか、何を支部に求めていくのかを考えた時、これらのブランドを向上させるための政策を各支部に浸透させていかなければいけません。また新しい組織に移した2014年の後、その組織の上で立って何をやっていくのかなどを編み出さなければいけないと思っています。

校友憲章に つどひ結び

かなければなりません。こうしたことをより多くの卒業生の方々に理解・認識していただくことが、これからは必要だと思います。

また、今後の校友連合会の発展のためには、どうして最終会員を増やすことが最大の課題と思っております。早急に対応を検討したいと思っています。

もう一つは、大学との連携を強化しないと今後の発展は望めないと思っております。大学にとって42数万人の卒業生は重要な人的資産だと思っております。今後大学との関係を一層深めると共に、会員同士が信頼関係を醸成しつつ、大学と後援会と三位一体となって、校格向上に努めなければならないと思います。

終身会員の増強を 大学との連携強化

司会 会員増強は財務基盤の確立に欠かせない話ですが、財務担当の松田副会長から。

松田副会長 今後の課題として、一つは2013年度に向けた財務基盤の確立

イベントで活性化 全国で校友の輪を

司会 大学との連携強化についてですが、事業担当の高村副会長から。

高村副会長 後援会との共同事業活動を積極的におこなって

高村副会長 後援会との共同事業活動を積極的におこなって、財正面からの確立は、組織そのものの拡大と会員の自立です。このことを実現するためには総務・組織・財務・広報・事業の5部会との連携をより深めていきながら財務基盤をどのよう

岩田副会長 共同事業委員会で後援事業のデッサンが

岩田副会長 共同事業委員会で後援事業のデッサンができていますし、卒業生の交流事業も多々実施されています。私は、今迄の事業部の活動からより踏み込んで地方組織との企画を行うことはすばらしいことだと思いますが、共同事業委員会の枠内でもできることも多くありますので、そこを活用することも必要だと思います。

岩部会長 法政フェアは広

岩部会長 法政フェアは広島の開催が初めてのですが、卒業生の方々の結集によって大盛況でした。しかし、後援会との共同事業でもありますので、この数年はどうしても首都圏が開催場所になっています。全国のユニバーシティにする



ミッションビジョン

戦の応援支援です。大学のメインスポーツである野球、ラグビー、アメリカンフットボール、箱根駅伝などの成績は今一つ奮いません。強いから応援するのでなく、弱いことで学生も関係者も悩んでいたと思いますので、声を高めて応援していくというスタンスを作る必要があるのではないかと考えています。また卒業後、法政大学と疎遠になっ

とりたいと思っています。

さらに、いま実施している卒業生が参加できるようなイベントを検討していきたいと思っています。

佐藤副会長 卒業生と一番身近に

佐藤副会長 卒業生と一番身近につながっているのが広報で、会員の方々の様々な情報を求めています。地方支部に何うといういろいろな要望がありますのでそれをできるだけ受け入れていかなければならないと思っております。私は校友憲章に母校への貢献と校格とありま

岩部会長 広報活動は常に

岩部会長 広報活動は常に情報を得るだけ発信して

絆と和を基軸にし 広報・啓発活動を

例えは、会報の卒業生訪問欄を通じて多彩な卒業生がいることを知らしめることや地方支部で活躍している卒業生をより積極的に取り上げていくことも必要ではないかと思っております。

岩部会長 校友憲章は校友

岩部会長 校友憲章は校友連合会の理念です。行動がその理念からはみ出そうとすれば元に戻らなければなりません。ですから校友憲章を多くの会員の皆さんに理解していただくことを望んでいます。社会では何事もそうですが、強くなければ生きていけないし、弱くなければやっていけません。また個人では、まず優しさがなければいけません。校友連合会は、理念がなければ存在する資格がないと思っています。

会員の皆さん、今年もよろしく

会員の皆さん、今年もよろしくお祈り致します。



司会の宮本幸彦さん

座談会を終えて

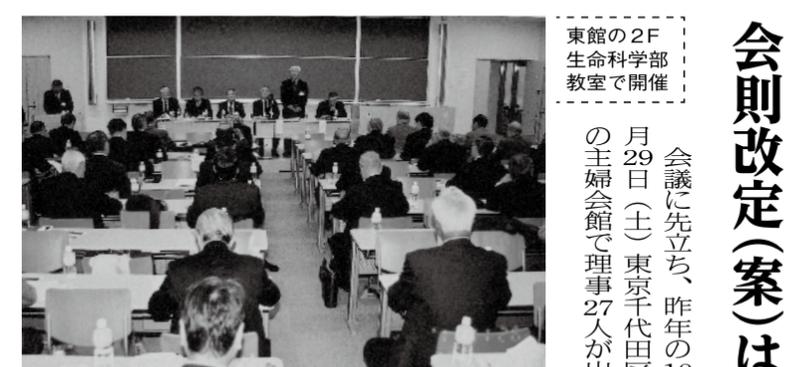
会長以下5人の副会長から構成される新役員会は、それぞれの立ち場で校友連合会の現在の組織を基にして、今後どのように発展させていくべきかについて確固たるミッションとビジョンを持ち合わせていることが、一言一言の発言に込められていることを改めて認識しました。

構成・写真 伊藤正義

文 宮本幸彦 構成・写真 伊藤正義

開く 団体責任者会議

平成23年時 会則改定(案)と現状報告を小金井キャンパスで



会議に先立ち、昨年の10月29日(土)東京千代田区の主婦会館で理事27人が出席し、役員会より諮問された会則改定(案)について臨時理事会を開催した。

次いで、臨時団体責任者会議が11月26日(土)法政大学小金井キャンパスで議決された。会議は、高村副会長の司会で、岡田副会長のあいさつ後、松井幹夫議長、伊藤貞雄副議長を選出。質問書を事前に提出した阿部肇議員、北川彰議員から7月2日に開催した団体責任者会議での内容確認や会則改定(案)等について役員会の見解を正し

たのに対し岡田副会長が詳細に互って説明。恵良郁文会則改定委員会委員長が改定(案)を詳細に説明し活発な質疑応答が行われた。数人の議員から、条文の一部改正が提示され、岡村邦彦議員から継続審議の緊急動議が出され、議決された。現状報告は、桑野副会長が1県1支部体制の進捗状況を報告。また、松田副会長が逼迫した財務状況の説明、佐藤副会長が広報活動の充実のため各支部活動の情報提供の呼びかけを行い閉会した。

懇親会は、地下1階食堂で開かれ、会場では各所で活発な意見交換が行われた。

東日本大震災義援金を 卒業生被災者に配布



2011年8月10日に岩部会長より

ご協力ありがとうございました

このたびの東日本大震災により亡くなった方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに被災された方々に義援金が渡されました。

このほか水戸法友会、茨城県南支部、宮城県支部、郡山支部の方々に義援金が配布され、その後も順次配布されております。

このたびの被災者に対する義援金の配分方法について、次の通り決定いたしましたのでご報告申し上げます。

- 義援金の配分について**
- このたびの被災者に対する義援金の配分方法について、次の通り決定いたしましたのでご報告申し上げます。
- 死亡・行方不明 30万円
 - 家屋の全壊・全焼(自宅) 12万円
 - 家屋の全壊・全焼(実家) 10万円
 - 家屋の半壊・半焼(自宅) 8万円
 - 家屋の半壊・半焼(実家) 7万円
 - 家屋の床上浸水 5万円
 - (自宅・実家) 3万円
 - 家屋の床上浸水 3万円
 - (自宅) 2万円
 - 家屋の床上浸水・一部損壊(実家) 2万円
- 東日本大震災救済募金**
- 11年8月末現在(敬称略)ワンダーフォーゲルクラブ(3万円) 三六法A会藤巻征治(1万円) 角田邦雄(4千円) 佐々木宏(3千円) 徳地要保(2千円) 新納武久、江頭邦宗、土屋啓介、嘉村克彦、田中宏、辻重五郎、徳村永通、伊勢雄一、瀬川光雄、(各1千円) 工体連OB会 田巻嘉彦(10万円) 北九州支部(5万円) 練馬支部(3万5千円) 合計25万3千円

卒業生訪問

こんにちは!

大学時代から中井さんは、勉学、サークル・ゼミと何事にも常に全力で取り組み、卒業後は地元・北洋相互銀行に就職し、本店・営業店と長年に亘って営業の第一線で活躍。1997年には、経営管理部長として北海道拓殖銀行の破綻処理を陣頭指揮し、翌年に経営統合を果たすなど、その実力を遺憾なく発揮して副頭取まで勤めた努力の人。一方で趣味と遊びも全て「忙中閑あり」との考えからアウトドア、読書、音楽鑑賞を楽しむスポーツと文化人としての一面を持ち合わせる中井さんに学生生活の思い出、金融マンとしての仕事ぶりや趣味などについて聞いた。

北洋銀行顧問・交洋不動産会長

中井 千尋さん



大学卒業後金融界に就職しました。特に印象に残るお仕事は

就職試験は4年次の6月からでした。5月の連休明けに学生課(現キャリアセンター)に相談に行くことになり、

なかい・ちか

1945年(昭和20年)生まれ、66歳、札幌市出身。68年3月経営学部卒。同年4月(株)北洋相互銀行(現北洋銀行)に入行、88年8月(株)北洋銀行顧問・交洋不動産(株)代表取締役会長に就任、98年取締役経営管理部長、現在に至る。

合格でした。合格するまで紹介するので安心して下さいと言われ就職難の時代でしたので大変感謝したことを今でも覚えています。

7月に現在の北洋銀行の内定をもらいました。銀行は午後3時にシャッターが閉まり4時に帰れる程度の認識しかありませんでした。入社後の勤務は、朝7時過ぎに出勤し雑用からスタートし夜9時過ぎに帰行するという休日以外は残業の連続でした。

勤務先は営業店と本部が半々ですが、本部に勤めると営業店向き、営業店に勤めると本部向きと言われる転勤の繰り返しでした。20年を経て支店長になりましたが支店長経験は1店舗のみで、その後は全て本部での勤務となりました。

印象深かった仕事は1997年に北海道拓殖銀行が破綻し、その営業を北洋銀行が引き受けることになったことで拓殖銀行、北洋銀行から各3人が引継委員となり、私が営業譲渡の全体を仕切ることになりました。1年間の期間と定められて旧大蔵省、日銀、預金保険機構、生損保各本本社などの金融機関を毎週のように訪問し折衝・相談を続けましたが、未知の仕事に疲れも忘れ無夢中で働き充実の毎日でした。翌年に営業譲り受けの形で統合を果たし、後にコンピューター統合も終えました。

ほっとする間もなく、2001年に当時の札幌銀行との経営統合にも参画し

7年後の08年に合併を果たすなど二十数年は休む暇なく走り続けてきました。法政大学を選んだのはどのような学生生活でしたか

高校は新設4年目の市立高で、卒業生も少なく、先生は教育大(現筑波大)と北大が主流で国立大学への受験者以外は殆ど相手にされない状況で、仕方なく情報もまままま友人数人と上京し数校の私大を受験し法政大学に入学できました。

学生生活は、市ヶ谷校舎や周辺の環境を始め教授陣・サークル・ゼミの先輩友人にも恵まれ、充実した4年間を送ることができました。社会人となり今日まで振り返って見て大学での体験が私の人間形成に大きな影響を与えたと思っています。

趣味・読書・愛読書はスポーツを通じて体を動かすことが一番の趣味でしたが、最近ではスポーツ観戦が中心となりました。それでも山登り(1500mのトレッキング)や溪流釣り、ゴルフなどを行っています。

引退後は、自給自足の自然食を自分の手で調理し、家族に食べさせるのが夢です。

日は読書、音楽鑑賞を楽しんでいます。本は歴史もので中でも戦国時代と近代物が好きです。最近読んだ中では、日経新聞に連載された『平家』(池田彰一郎著)、『世界を創った男チンギスハーン』(堺屋太一著)、『韃靼の馬』(辻原登著)の3作です。私の素人評として3作の共通点は、文書力がしっかりしていること、表現に全く濁りがなく話の展開もスピーディー且つドラマチックと読者を飽きさせないのでボリュームの割りには一気に読めます。

健康への取り組みは特にレジスマン(ストレスを溜めないこと)に尽きると思っています。ストレスは個人差はあれ、のがれられないものなので、蓄積されなければそれほど害はななく、むしろストレスとうまく付き合う位で良いと思います。

実践しています。食生活は「体は食べ物で形を変えたもの」の教えを守り良いものだけを摂取したいと思っていますがなかなかできないのが現状です。それでも引退後は、自給自足の自然食を自分の手で調理し、家族に食べさせるのが夢です。

岩部校友連合会長は、法政大学をこよなく愛し、どんな苦労も厭わず、いつも校友を励まして頂いて唯々頭が下がるばかりです。次に続く人、そして地域の核になれる人を育成されることを切望しています。

在校生には、法政大学のあらゆる環境が他校に比べて全ての面で勝っていると思いますのでこの環境のなかで限りある時間を有効に使って社会に巣立つ準備をしてもらいたいと思います。就職は、理想と現実には必ずギャップがあるのでやりたいことと一生の仕事は違うことを認識し、早め目標を絞り込み、やってきたことに自信を持って面接官に主張する。また、技術系は別として文系の学生に求められるものは、能力面に差が殆ど無い場合は、最終的に人柄・明るさ・積極性のいわゆる情意重視を求められるので訓練を重ねることが必要です。サークルやアルバイトなどを通じて、新入生のころから意識して努力を続けることが大事だと思っています。

校友随想

法政おわが母校を卒業して幾年。各地で活躍し、その後の人生模様を寄稿願った。



西村 晴道
静岡県支部長
70年 工学部卒

ていたようです。小学校5〜6年生のころ、静岡に法政三高をと神田先生が誘致して活動していた時、父が土地をまとめていましたが、途中で止まってしまいました。

法政漬けの人生

その後、静岡市にある法政友会に入り、支部長となり、現在初代静岡支部長として微力ながら奮闘しています。



伊東 一夫
人間環境ネット21顧問
03年 人間環境学部卒

環境カウンセラー

21世紀は環境がキーワードの一つです。大学に人間環境学部が1999年に開設されること知り、社会人開放で入学。子ども達も社会人になり、家内(保護者)も賛成してくれる。入

環境学部が1999年に開設されること知り、社会人開放で入学。子ども達も社会人になり、家内(保護者)も賛成してくれる。入

から東小金井まで、亜細亜大学の裏を同じ下宿人二人と歩いて通いました。今春懐かしい思い出の小道を歩いて、新キャンパスを見に行こうと予定しています。

先日、法政大学評議員としてキャンパス視察の際、数十年ぶりに小金井キャンパスを見ました。すべてが新しくなり、正面図書館の階段の一部とケヤキの木が取り除かれる直前に目にしました。「建築科」も「デザイン工学部」として市ヶ谷に移転し、年月の移り変わり、大学経営の変化を痛感しています。

ISO14001(環境マネジメントシステム)の勉強会、学園祭や神楽坂エコマップづくりなどに参加する。サークルは、キャンパス・エコロジー・フォーラム。

フィールド・スタディでは上越市吉川町の農業、八丈島では地熱・風力発電設備などを勉強する。私自身、備などを勉強する。私自身、若い学生さんからエネルギーを持って頂けない時は本当に辛いですが、ただ、この辛さもお客さまとの信頼関係が構築でき、商品を買って頂いた時は最高の喜びに変わります。

休日は何を会社の先輩とフットサルをしたり、遊びに行ったりしています。また、仕事に関連するFP等の資格取得の勉強もしています。

今後の抱負を一言証券投資に興味がないお客さまにも理解して頂けるよう、多くの知識を修得し、人間の魅力のある証券営業マンになりたいと思っています。(取材・高根典文)

新シリーズ

「新社会人は〜今」 第1回

2011年4月、社会人となった校友は今、この厳しい経済状況下で、どんな活躍をしているのかを取材した。

証券営業で顧客開拓



池守 望さん
大和証券(株)上野支店
11年 経済学部卒

4月に社会人に仲間入りして、学生時代と違うと一番感じたことはそれは自分の一つ一つの行動に大きな責任を感じる

現在の仕事と仕事で一番辛いと感じたことはお客さまのニーズに合った資産運用の提案を行う証券営業で、お客さまに関心

後輩に伝えたいことは

支部・団体

だより

編集企画構成
典文徳運 義欣榮作
高根田川 高矢相笠

松戸支部

マジックで盛り上げる 多彩な秋季懇親会

松戸支部の第3回秋季懇親会が昨年9月30日(金)、新松戸ホテルにおいて卒業生50人が参加して開催されました。懇親会は松山副支部長の司会により進行。



松戸支部「秋季懇親会」

最初に廣野貴之支部長が支部活動を通じて会員相互の更なる親睦促進を訴え、合わせて東日本大震災への支援活動推進への協力を求める挨拶を行いました。

続いて、川井前松戸市長(S40年卒)が市政を離れても引き続き会員として絆を強めて行きたいと挨拶。現在松戸市議10期目の小沢曉民市議会議員(S38年

介が行われ仲間からの温かい声援と激励の拍手が贈られました。

支部では、「東日本大震災支援募金」箱を受付窓口を用意し、受付時と閉会時に参加者の募金を呼びかけ活動に参加して戴きました。

所法友会会長に就任された佐藤博俊氏の首頭で乾杯が行われ、なごやかな雰囲気の中で歓談に及びました。

力にて来賓を含め総勢55人で開催いたしました。

物故者の黙祷の後、今泉副会長の開会挨拶、そして宮本会長の主催者挨拶と続き、議事に入る前に野口幹事より校友憲章を朗読いたしました。

中締め挨拶は弓木田副支部長により行われ、最後は、同支部会員の大家勇氏(S38年卒、現・法政大学レスリング部総監督)の力強いエールのもと、参加者全員が陣を作った校歌斉唱が会場一杯に響きわたりました。

茨城県南法友会

定期総会を行う 役員改選・新会長を選出

平成23年度定期総会を9月10日(土)に土浦市のラ・フォルスタ・ディ・マリア



平成23年度 県南法友会定期総会

長から団体責任者会議報告、そして江戸事務局長の事業報告で締めくくられました。

議事後、来賓の佐藤校友連合会副会長、木村水戸法友会会長、成田日立法友

富山県校友会

校友の集いを開催 公開特別講演会に 200人参加

平成23年8月20日(土)、富山市のANAクラウンプラザホテル富山において、法政大学富山県校友会の「平成23年度校友の集い」が開催された。

総会に先立ち、今年は公開特別講演会として、明治安田生命保険相互会社特別顧問の大島雄次氏と弁護士で元最高裁判所判事の遠藤光男氏を講師にお招きしたことから、一般市民の反響も大きく、会場も200人を超える人で埋まりました。

お二人からはそれぞれ「競争社会で勝ち抜くために」(大島氏)、「裁判員制度実施2周年を顧みて」(遠藤氏)と題して講演をいただきましたが、この催しを知った県外のOBが東京、大阪方面から遠路7人の方が参加され、「大島、遠藤両氏がそろう講演を聴けるといのは、物凄いいことだ、大変素晴らしい」といった感激の声も聞かれた。



富山県校友会「校友の集い」開催

講演に引き続き総会において、会務及び会計報告とともに、今後の事業計画と収支予算が審議され、全会一致で承認された。

恒例の記念撮影の後、田島悠紀子アナウンサー(H13社会卒)の司会により開始された懇親会には、講演会講師の大島、遠藤両氏のほか、法政大学理事で法

政大校友連合会副会長の桑野秀光氏、法政大学後援会富山県支部から東田邦利支部長はじめ4人の役員など多数の来賓、さらに法律相談会の実施のため富山を訪れている法政大学法律相談部54人や、富山で合宿を行っているバトミントン部の代表4人を含む総勢220人が参加した。松井幹夫会長(S39法卒)の挨拶の後、ご来賓の挨拶に続き、春の叙勲において瑞宝章を授章された中嶋勝己氏(S39社会卒)に記念品が贈呈された。

最後に西田政司事務局長(S58経営卒)のリードで参加者一同肩を組んで声高らかに校歌を斉唱した後、法政大学と校友会の益々の発展を祈念して吉田義夫会長代行(S39経済卒)の主旨により万歳三唱をし、櫛部春男幹事長(S45社会卒)の閉会の言葉で盛会の内に幕を閉じた。

今回はアトラクションとして校友の京免実氏(S41社会卒)をはじめとしたハワイアンバンド「バーム・フリーズ」のダンスと演奏が披露され、参加者ははじはじの間南国ムードを大いに楽しむなど、賑やかな雰囲気の中で交流が交わされ、親睦が深められた。

富山県校友会「校友の集い」開催

最後に西田政司事務局長(S58経営卒)のリードで参加者一同肩を組んで声高らかに校歌を斉唱した後、法政大学と校友会の益々の発展を祈念して吉田義夫会長代行(S39経済卒)の主旨により万歳三唱をし、櫛部春男幹事長(S45社会卒)の閉会の言葉で盛会の内に幕を閉じた。

今回はアトラクションとして校友の京免実氏(S41社会卒)をはじめとしたハワイアンバンド「バーム・フリーズ」のダンスと演奏が披露され、参加者ははじはじの間南国ムードを大いに楽しむなど、賑やかな雰囲気の中で交流が交わされ、親睦が深められた。

台東支部

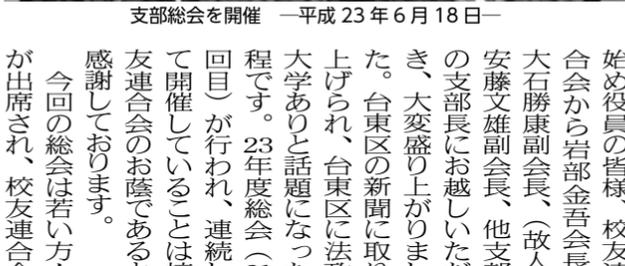
異業種交流の場として楽しい会へ 総会出席者100人目標へ

支部のあゆみ

台東支部は戦後、支部を作ろうと、松岡広興氏が内山区議、牧福松氏に協力してもらい、会員集めに奔走し、第1回総会は昭和26年に行われた。その後、稲川裕、岡崎吉作両氏のご尽力によって継続され、松村幸雄支部

長、手塚浩之同、石原若

光同、中島洋吉同、中川慎同と今日に至っており、特に、盛況だった時期は台東区長の内山榮一氏、助役の近藤達仁氏の頃でした。もう一つは、平成19年の第57回総会に、大学から平林千牧



支部総会を開催 平成23年6月18日

始め役員の皆様、校友連合会から岩部金吾会長、大石勝康副会長、(故人)安藤文雄副会長、他支部の支部長にお越しいただき、大変盛り上がりま

現在の支部活動は河原支部長(S41年経卒)を中心に、6月総会、8月納涼会、1月新年会を開催して

40歳以下の方は会費を安くしたり、役員の寄付により全員に当たる抽選会を行い、会費以上のメリットが出るように努めています。

かかえる問題点
メンバーの高齢化と本部会費納入者の減少が問題点です。会の目的を異業種交流の場として参加すると得る会。そして、楽しくて人脈が広がるとPRし、若手会員の増強を図っております。

続いて、松田善正名誉会長(S32法卒)の主唱による乾杯の後、8月20日、21日に法律相談会を実施するため富山市を訪れている法律相談部や、富山市で合宿を行っているバトミントン部の方々が紹介され、スピーチをいただいた。また、

かねてから企画中の東北大震災の被災地を訪問して、その実態を研修するツアーを昨年、9月4日(日)5日(月)にかけて行いました。



東北研修旅行開催

被災地見学を終わり、世界遺産になった平泉「中尊寺・毛越寺(モウツウジ)」に向かいました。

中尊寺・金色堂は4代まで続いた藤原一族の栄華をかいま見る事が出来、また毛越寺は浄土を表す建築・庭園及び考古学的遺産群として壮大でありました。そ

【4面から続く】

ここも風評被害の為か、休日にしては観光客があまりおられません。地元OBが1人加わり、懇親会を開き交流を深めました。



九州ブロック会議

支所懇親会も同時開催

平成23年度第10回九州ブロック会議が、8月27日(土)午後4時から、那覇市の沖繩ハーバービューホテルクラウンプラザで、開催され、県内外から約70人が参加し盛大に行われました。

室長・経済学部教授、山口芳江総長室企画担当主任にお越しいただきました。

沖繩県支部総会が午後2時から行われ、また、3時から増田壽男法政大学総長の「法政大学の現状と将来」というテーマでの講話がありました。

引き続き会議では、議長に沖繩県支部の宮里昭也支部長が選任され議事が進行。報告事項として、平成23年度校友連合会報告を坂本順子事務局長が、平成23年大学報告を宮脇典彦総長室長・経済学部教授がされました。

その後の議題では、校友連合会への要望、大学への要望など、前向きな議論が活発に行われました。会議の最後には、鹿児島県支部の荒武連支部長が、第19回法政大学全国卒業生の集い鹿児島大会に、九州各地から沢山の校友が出席されるようにアピールされました。



沖繩県支部の鈴木洋一幹事長の司会による会議後の懇親会では、沖繩県支部の

翁長雄志那覇市長、高良文雄本部町長らの校友も加わり、九州各県の校友と大いに懇親を深めました。

後に、元応援団長前田優(S32年卒、91歳)沖繩県支部顧問の「フレ、フレ法政」のエンターテインメントとなりました。

引き続き会議では、議長に沖繩県支部の宮里昭也支部長が選任され議事が進行。報告事項として、平成23年度校友連合会報告を坂本順子事務局長が、平成23年大学報告を宮脇典彦総長室長・経済学部教授がされました。

その後の議題では、校友連合会への要望、大学への要望など、前向きな議論が活発に行われました。会議の最後には、鹿児島県支部の荒武連支部長が、第19回法政大学全国卒業生の集い鹿児島大会に、九州各地から沢山の校友が出席されるようにアピールされました。

大阪支部

恒例の校友企業見学会を

昨年、7月12日幹事会を中心に総勢23人参加し、かの有名な洋菓子工場「エーデルワイス」とその「ミュージアム」及び「信博物館」の見学会が行われた。最初の「エーデルワイスミュージアム」では、世界の洋菓子の型とお菓子で作られたとは思えない帆船やお城等の素晴らしい芸術作品と、数千点の製造器具の展示を見学し、また工場で焼き菓子やケーキが手作りされる様子に感動を覚えた。



所狭しと飾られた器具・金具等はヨーロッパでは見ることの出来ない古くて貴重なものが多く、外国からも見学者が多数訪れてくること。見学後の懇親会席上、比屋根毅会長の歓迎の挨拶と会場の成り立ちや生菓子の難しさの話があり、大阪支部古市實(昭19年経卒)支部長の答札と続いて氏平競重(昭19年経卒)相談役はヨーロッパ旅行をしても日本のケーキが一番美味い」と話した。

比屋根祥行(昭58年経卒)エーデルワイス社長は、常に研究と製造管理とともに一つ一つ手作業にこだわっているとのことであった。次に阪神尼崎駅近くの「信博物館」を訪ね、世界の金銀銅のコイン・各国の貯金箱数千点の展示品に加え、常設館の日本刀・甲冑や火縄銃を見て歩き、工芸品や洋画と盛り沢山に見学した。

その後の夕食会では、校友たちの親睦を深めるとともに、これからの行事などが話し合われ、夏の大変有意義な一日を過ごすことができた。

宮城県支部

設立110周年記念式典を挙行

宮城支部の設立110周年を記念する式典が昨年、11月6日(日)、仙台市内のホテル法華クラブ仙台中で盛大に開催され、95人が出席した。

式典に先立ち法政大学工学部を卒業、同大学院進

学後、サラリーマン生活を経て杏林大学医学部に入學し、現在、石巻赤十字病院の形成外科副部長として活躍中の田牧聡志医師が「東日本大震災、石巻赤十字病院で戦った日々」と題して記念講演を行った。田牧医師は、法政魂を胸に「戦場のような医療現場」での壮絶な活動を報告した。

この後、増田壽男総長の祝辞にて宮城支部の発展への期待を寄せ、岡田安弘校友連合会副会長からの祝辞をいただいた。続いて、校友会に長年貢献した佐々木長輔・元最高顧問(故人)の子息・佐々木康夫氏、佐々木貞男最高顧問に感謝状と記念品が贈呈された。

続いて、伊藤徳昭副支部長の挨拶で、祝賀会に入った。祝賀会では、法政大学応援団が華麗で気迫あふれる演技を披露。出席者全員がスクラムを組み校歌を大合唱した後、田中啓司幹事

千代田支部

法友の集いを開く

支部の結束を確認

昨年、10月28日(金)午後6時より、秋葉原・万世橋際「肉の万世」にて1年ぶりに支部会を開催した。校友連合会より桑野副会長、坂本事務局長のご来席で21人が参集。高橋幹事長の司会で山口副支部長の開会の辞。角田支部長より東京支部組織への話も加え挨拶。掘田相談役の乾杯。桑野副会長の挨拶をいただき懇親となった。

また、佐藤支部長は、挨拶の中で、「去る6月19日に開催された県内4支部支部長・幹事長会議で、1県1支部体制確立に向けた討議が行われ、『福島県支部』を発足を正式決定し、初代福島県支部長に佐藤支部長、副支部長に山口郡山支部長、木村会津支部長、渡辺いわき支部長を決定した」と旨、話されました。

総会には、法政大学後援会福島支部の渡辺幾夫支部長を来賓に迎え、金子恵美校友(参議院議員)をはじめ約30人の校友出席のもと、佐藤平治支部長の挨拶、平成22年度の事業報告・決算及び平成23年度の事業計画・予算審議が行われ、全て原案通り承認されました。

福島支部

支部総会で

県支部発足決定

さらに、本総会では、東日本大震災に関する各方面からの激励・お見舞いに関する謝意を表すとともに、福島原発事故関連による避難区域を有し、陣頭指揮を執られている古川道郎川俣町長(校友で、当日は公務のため欠席)へのエールも送られました。

世話役の熊本支部鍋島一紀氏(S31年法卒)の総会司会進行。まず城戸克二熊本支部長、岩下而副支部長、松本繁同幹事長ら執行部から、10月22日に行われた第19回全国卒業生の集い鹿児島大会の様子が8月に那覇市で開かれた校友会九州ブロック会議、23年度熊本支部会計などについて経過報告。松本幹事長から「新規会員の加入を卒業生名簿などを頼りに呼びかけているが苦慮している。情報収集に校友各位の協力を願いたい」と要望した。このあと全員で記念撮影をして総会を終了した。

熊本支部の出身の山田武監督が製作中の劇場映画「母ちゃんの子守歌」の製作状況について説明。いよいよ24年春から撮影開始の予定であると報告した。会場では各円卓ごとに和やかに交歓。熊本支部の中熊敦氏(S52年経営卒)ら熊本奇術協会メンバーによる恒例の華やかなマジックショーで盛り上がった。最後は全員が肩を組んで校歌とエールを斉唱して散会。次回までの意気軒高を誓い合った。

熊本支部

恒例のマジックショーで

高知県支部

2人が叙勲

校友会活性化に弾み



福岡支部

全員が好タイムで完走



西森善郎氏は瑞宝双光章に野島国弘氏は瑞宝小綬章にそれぞれ輝いた。これを機に、参加した20人の校友の全員は、よりいっそうの結束と活性化を誓い、散会とした。なお来年は我が校友会が幹事校となり、24回を数える東京六大学高知県OB大懇親会が開催される予定であり、往時の勢いを復活させ、多くの校友が集まるよう、今から準備を始めること加藤幹事長は息巻いている。【期待ください】(幹事長 加藤敏仁)

卒業生の皆様本年もよろしくおねがいます

新 年 進取の気象 質実の風

(作詞・佐藤春夫)



Table listing alumni members and their roles across various university associations. Columns include names, titles (e.g., 会長, 理事), and graduation years (e.g., 1967年卒).



(法政大学校歌より)

リーディング・ユニバーシティ

謹賀

よき師 よき友 つどひ結べり

Table listing various alumni associations and their members, including names like 宮里昭也, 川越悦生, 森實貴幸, etc.

Advertisement for Gland Hotel (陸中海岸グランドホテル) with contact information and a photo of the hotel building.

Advertisement for Tokyo Heihan Co., Ltd. (東京平版株式会社) featuring an elephant and a crane, with text about e-books and contact details.

(順不同)

法学部同窓会

創設15周年記念への
精力的な取り組み

卒業生祝賀会

平成24年3月24日には大
学内施設(場所未定)で教
授会と共催の卒業生祝賀会
を開催します。毎年500
人以上の卒業生が参加しま
す。

定期総会・15周年記念

同年7月15日(日)午後
1時から市ヶ谷キャンパス
「薩埵ホール」にて定期総
会・懇親会を開催します。
今年は創設15周年記念も含
めての開催ですので大きな
会場を用意しました。

また現在、社会的、経済
的に活動されている卒業生
にお声をかけて、定期総会
と併せて一堂に会してい
たくことも計画していま
す。(ご期待下さい)。

就職セミナー

なお、法学部同窓会では
在学生のための就職セミ
ナーを年2回開催しており
ます。文学部、経営学部と
の共催も視野に入れて活動
を続けております。



H23.11.10の就職セミナー

法学部同窓会の活動は、
会報としてホームページを
ご覧下さい。会報はご要望
があれば1部でもお送り致
します。

(事務局)

経済学部同窓会

フランス
ボアソナード先生を
訪ねる旅

旅行は、昨年9月30日(金)
から10月8日(土)まで、
26人が参加して行われた。
10月1日、地中海に面し
たコート・ダジュール、保
養地アンティープにあるボ
アソナード先生のお墓に参
り献花。雲一つ無い紺碧
の空、日差しは強く秋とは
思えない陽気。2日、エク
ス・アン・プロヴァンスに



近現代絵画の父セザンヌの
トリ工等を見学。3、4日
は、梅謙次郎先生ゆかりの
リヨン大学、ボアソナード
先生ゆかりのパリ大学をそ
れぞれ表敬訪問し、記念品
の交換や校内見学等を通し
て相互の親交を深めた。パ
リ大学では、ボアソナード
先生の胸像を囲んでの記念
撮影の折、不審に思った警
備員が駆けつけるという一
幕も。

5、6日は、バルビ
ン宮殿やバルサイユ宮殿
ルーブル美術館等を見学。

その威容、歴史的芸術品の
数々に圧倒され、ようやく
時差ぼけが治る頃、名残惜
しくもフランスの旅は終
つた。
(08年卒 古谷昇)

理系同窓会

恒例の11理工系
ホームカミングデー

2011年11月5日(土)
に、恒例行事となりました
「11理工系ホームカミング
デー」が盛大に開催されま
した。

講演会では、崎野清憲理
工学部長の「理工工学部の現
状」とデザイン工学部の佐
藤康三教授の「デザインと
エンジンリング/LRV
万葉線開発から」の講演を
いただきました。



小金井祭の見学&キャ
ンパス巡りの後、懇親会が
東館食堂にて、開催されま
した。今回は現役の学部・
院生の参加も多く、同窓生
との懇談も交え和やかな雰
囲気の中、マンドリンク
ラブの演奏を堪能した後、
150人を超す参加者一同
による校歌斉唱にて無事閉
会いたしました。理系同窓
会の今後の発展が期待され

ます。

文学部同窓会

10周年記念行事と
秋の谷根干散策

設立10周年を迎えた文学
部同窓会は、昨年7月2日
の総会会場で法政グッズの
頒布、十周年のあゆみ・同
窓会報バックナンバーの展
示、東日本大震災被災地へ
の義援金募金を行ない、総
会のあとに、特別記念講演
会では同窓生の長澤法隆氏
による「シルクロードのキ
ルギスを旅して出合った日
本人の足跡」と文学部名誉
教授の勝又浩氏による「空
気社会」の『私』と『文学』
を開催しました。

11月5日には「秋の谷根
干散策」を実施し、寛永寺
と谷中霊園、千駄木のかつ
ての文人たちの旧居跡を巡
り歩いて、紅葉の始まった
歴史ある地の風景を足の疲
れも忘れて楽しみました。



支援シンボウムの第18回就
職セミナーが「仕事選びを
考える」〜各界の先輩が語
ります!〜と題して、昨
年10月19日(水)社会・経
済・現代福祉各学部同窓会
主催、多摩キャンパス4学
部教授会、多摩キャリアセ
ンター後援で、経済学部棟
201教室に110人が参
加し開催された。

就職戦線厳しい中、就活

社会学部同窓会

3学部同窓会共催で
就職セミナーを開く

就職戦線厳しい中、就活

経営学部同窓会

記念品贈呈

平成24年3月の学位授与
式後、学部の卒業記念パ
ーティの席上で、同窓会よ
り成績優秀者10人に記念品
が贈呈されます。



運営当番の経済学部同窓
会から斎藤孝夫組織部長
の開催挨拶で進行し、辻田
実会長、菊池道樹学部長か
ら今日の就職環境と激励の
挨拶があり、廣川みどり教
授のコーディネートでシ
ンポジウムが展開。

パネリストには、経済
学部01年卒の真下明剛氏
(UBSグローバル・アセッ
ト・マネジメント株)、同
05年卒の渡邊浩司氏(株
八千代銀行御野辺支店)、
社会学部05年卒の中山宏司
氏(東京消防庁田園調布消
防署)、同11年卒の湯本倫
也氏(長野県山ノ内町役場)
の4人のゲストを迎え、就
活の体験談が語り継がれ
た。また休憩をはさんでの
質問紙の回収による指名
ゲスト回答のコーナーも設
定され、的確なアドバイ
スで「参考になる」と会場を
沸かせた。

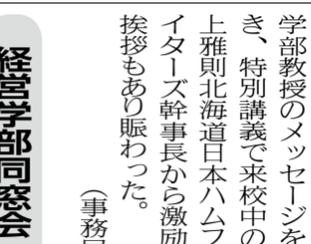
同窓会ではホームペ
ージで情報をお届けしてお
ります。ぜひご覧下さい。
「t-sujio@raupe.plala.
or.jp」
トッパマネジメント
同窓会の恒例のトッパ
ネジメントセミナーが昨年
の10月に開催され、講師は
ベンチャービジネスの経営
者でTESホールディン
グス社長・林明男氏で、当
日は学生を含め200人
以上が参加し盛況でした。

(副会長 松尾高佳)

法政高等学校同窓会

第27回付属高校役員
懇親会の盛会を期して

昨年幹事校は、法政大
学付属第二工業高校全日制
同窓会でした。本年は、幹
事校はまわり持ちで当校と
なり左記の日程により催さ
れます。



毎年の恒例行事で、付属
高校役員相互の親睦と絆を
深め、情報交換を行い各校
の拡充と発展に少しでも役
に立ち校格向上の進展に資
することを目指していま
す。

去る9月17日(土)、ホテ
ル精養軒(川崎市中原区)
において、40人の出席のも
と第2回常任理事会が開催
されました。いよいよ母校
75周年という大きな節目が
目前に迫り、同窓会として
も組織強化や母校支援に向
けた活動など、為すべきこ
とは山積しており、速やか
な対応が求められておりま
す。この状況を受け、常任
理事会においても集中審議
に重点を置き、短時間なが
ら綿密な審議を行いました。

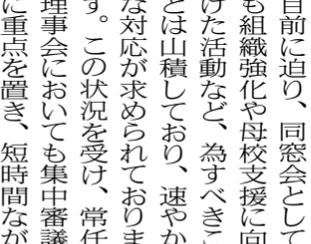
常任理事会に先立ち、新
常任理事6人が紹介され、
満場の拍手で迎えられまし
た。いずれも同窓会強化や
母校支援の更なる実現に強
い意欲を持った方ばかりで
す。二高同窓会は母校75周
年に向けて幅広く人士を迎
え、二高OBの力を結集
した「全員野球」で未来へ
と突き進む母校の最大の応
援者たらんと今後も努めて
いく所存です。

法政二高同窓会に関する

法政二校同窓会

母校75周年に向けて
集中審議

去る9月17日(土)、ホテ
ル精養軒(川崎市中原区)
において、40人の出席のも
と第2回常任理事会が開催
されました。いよいよ母校
75周年という大きな節目が
目前に迫り、同窓会として
も組織強化や母校支援に向
けた活動など、為すべきこ
とは山積しており、速やか
な対応が求められておりま
す。この状況を受け、常任
理事会においても集中審議
に重点を置き、短時間なが
ら綿密な審議を行いました。



また、秋に参加させてい
ただいている学校行事、文
化祭の中ホームカミングデ
イがあります。卒業して20
年目を迎える同窓生を学校
へ招待するという会で今年
8年目になります。懐かし
い坂道を登り、丘の上にあ
る卒業当時と変わっていない
校舎に入ると、あつとい
う間に20年前の女子高生に
なっていることを期待してい
ます。

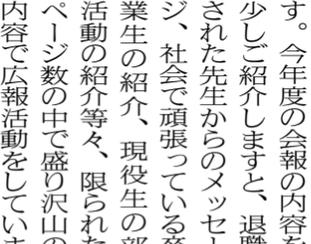
多数の参加を得て、盛会に
なることを期待しています。
平成24年2月18日(土)
午後5時〜7時
中野サンプラザ
TEL 03-3388-1151
13Fスカイ
会費 1万円(当日徴収)
申し込み
平成24年1月20日まで
連絡先
法政高等学校同窓会事務局
TEL 0422-7916233
(副会長 今西堯)

法政二高同窓会に関する

女子高同窓会

20年前の女子高生に

昨年5月の総会後、会報
作りから活動が始まりま
す。今年度の会報の内容を
少しご紹介し、退職
された先生からのメッセー
ジ、社会で頑張っている卒
業生の紹介、現役生の部
活動の紹介等々、限られた
ページ数の中で盛り沢山の
内容で広報活動をしていま
す。



また、秋に参加させてい
ただいている学校行事、文
化祭の中ホームカミングデ
イがあります。卒業して20
年目を迎える同窓生を学校
へ招待するという会で今年
8年目になります。懐かし
い坂道を登り、丘の上にあ
る卒業当時と変わっていない
校舎に入ると、あつとい
う間に20年前の女子高生に
なっていることを期待してい
ます。

群馬県一本化で協議
11月27日(日) 本部から
桑野秀光副会長と坂本順子
事務局長が来県し、桐生市
民文化会館国際会議室で群
馬支部設立を目標に本部と
の合同会議が開催。本部か
ら大学の動向、1県1支部
の構想を聞き、県内の高崎・
館林・太田・前橋・桐生各
支部の現況に関しての相互
の意見交換をした。県内の
同窓生の新規支部加入を希
望します。
(江原晴一郎桐生支部長)

法政二高同窓会に関する

原稿募集

ご冥福をお祈り致します

卒業生の皆さんの個人、
地域・同窓会団体などから
の積極的な投稿をお待ちし
ております。原稿は、1行
12字20行を目安、および写
真の添付もお願いします。



鹿山秀佳さん(59年卒)
11年11月30日逝去。04年
から11年まで社会学部同窓
会長を4期歴任。05年から
校友連合会副会長として広
報・総務担当を2期。08年
から大学2号評議員の重責
を担い尽力。75歳。

の楽しいおしゃべりが続
きます。これからもずっと
長く続いてほしい行
事のひとつです。
(企画係 中村美津江)

法政二高同窓会に関する

空手部

古豪復活をめざし 勇往邁進する

沖繩発祥の空手が、大正十三年頃から、関東・関西の大学を中心に普及しはじめました。武術から空手道、競技スポーツとして進



東大会では優勝4回、準優勝4回と大変素晴らしい戦績を誇っていますが、これは全て過去の栄光です。こ

名門の伝統とは、長い年月の間に山あり谷あり、風雪に耐えて心には熱く燃える情熱の炎が、脈脈と受けつがれて行くものだと思います。2年前からスポー

オール法政ゴルフ大会

佐々木徳彦さんに総長杯



70・80歳、女子優勝の鈴木昌子さんに岩部金吾大会会長から賞品が授与されました。

ゴルフ部

全国女子大学対抗団体戦優勝 最優秀選手に柳澤美冴

ゴルフ部は今年、全国女子大学ゴルフ対抗戦にて、創部以来初となる団体戦優勝を果たしました。



OB会 大山大輝 活躍を期待して閉会となりました。

柔道部

仁義礼智を養い 社会貢献を主眼に

シリーズ 体育会紹介 第4回

法政大学柔道部は創部以来100年の歴史を刻もうとして



2011年4月から担っており、日々身の引き締まる思いでおります。

部長であられる金子法郎先生の『精力善用』『自他共栄』を実践し、柔道を通じて心身を鍛え、更なる鍛錬で不屈の闘魂を培いながら、寮生活の中で一般常識と協調性を身に付けさせ

少林寺拳法部

進取の気象質実の風

少林寺拳法は武道であり、護身術です。武という字は「戈」と「止める」という2字からなる会意文字



少林寺拳法の技法には、突き蹴りなどに対し、受け、かわして当身で反撃する「剛法」と、手首を握る、衣服をつかむなど

技術を修行することを通じて、肉体と精神ともに健全な自己をつくり、社会の平和と福祉に貢献できるリーダーになることを目指して活動しているのです。

フェンシング部

大学日本一 女子フルール団体

わたしたち体育会フェンシング部は、1935年に創部し、2010年に75周年を迎えた歴史のあるクラブです。

学生たちの活躍は、インカレ等の学生大会の枠にとどまらず、これまでも多くのオリンピック選手や世界選手権代表を輩出し、国際大会での活躍を視野に入れて活動をして来

法友バドミントン部

2011年 女子東日本学生選手権大会・関東大学秋季リーグ戦団体優勝祝賀会

昨年は、東日本震災の発生により関東大学バドミントン春季リーグ戦は当然中止となりました。

ちなみに女子はリーグ戦3連覇です。昨年、10月22日(土)アルカディア市ヶ谷で盛大に祝賀会が行われました。



部長 伊藤マモル

第19回 法政大学全国卒業生の集い 鹿児島大会

「ゆくさ おじゃした かごんまへ」 520人が集い 結べり

(城山観光ホテル 2011年10月22日)

取材・文・写真：鹿児島支部 事務局長 中村正文
構成：原田和夫



城山観光ホテル「エメラルドホール」を埋め尽くす卒業生

第20回(2012年)法政大学全国卒業生の集い 11月16、17、18日 鳥根県で開催!

自由と進歩の 建学精神の継承・発展を 高らかに大会宣言

第19回法政大学全国卒業生の集い鹿児島大会は、昨年10月22日(土)、鹿児島市の城山観光ホテルで、全国から520人を超える校友、大学関係者の皆様に参加して頂き盛況裏に執り行われました。当日は、南国鹿児島らしい澄み切った青空の下、ホテルから眺望できる桜島も、「ゆくさ おじゃした かごんまへ(ようこそ いらっしやいました かごんまへ)」と参加者を歓迎しているようでした。

大会式典



荒武実行委員長

荒武さん歓迎挨拶 県知事らの祝辞も

式典の司会は、岡田祐介(平成11年文学部卒)と東理香(FCKAGOSHIMA)



桜島をバックに記念撮影



葉丸野太刀自頭流の実演

講演・実演

明治維新の講演 薩摩伝統の「自頭流」

記念講演は、薩摩藩や琉球の歴史に詳しく、NHK大河ドラマ「篤姫」、「琉球の風」などの時代考証に關与された志學館大学教授・鹿兒島大学名誉教授の原口泉氏を迎え、「明治維新と薩摩」一篤姫と龍馬伝の世界」と題して、ご講演を頂きました。



大会宣言の松山光子さん

次で、薩摩伝統の「自頭流」薩摩の秘剣 明治維新をたたき上げた剣 敵を避けさせず防がせ防げば力もろとも叩き斬る。地軸まで打ち込む気魄の天地両断する気合は、桜田門外の変や生麦事件、さては人斬り半次郎を彷彿させるものであった。また西郷隆盛や、大久保利通、果ては東郷平八郎に至る新生薩摩を代表する名だたるメンバーは何かの形で葉丸野太刀自頭流と接点があった。これが「明治維新は葉丸流でた

懇親会



岩部金吾会長の挨拶

懇親会のオープニングは、薩摩琵琶の演奏。岩部金吾大会会長、荒武連実行委員長(夫妻からの歓迎挨拶の後、浜村彰法政大常務理事の乾杯で始まりました。



薩摩琵琶演奏

ゴルフ大会

ゴルフ大会は、10月21日(金曜日)、桜島を見下ろす「南国カントリークラブ」で38人の参加がありました。雨模様の天気で、空からは、桜島の灰が降る中でのスタートとなりました。灰の降るゴルフは、鹿児島でしか経験できないことになりました。



順位	氏名	OUT	IN	トータル	HDCCP	ネット
1位	面高 理市	40	44	84	14.40	69.60
2位	山口 公弥	41	39	80	9.60	70.40
3位	高橋 久之	47	52	99	27.60	71.40
4位	高橋 順弘	42	45	87	15.60	71.40
5位	荒武 連	43	49	92	20.40	71.60
6位	鈴木 康治	45	40	85	13.20	71.80
7位	柳原 淳二	48	48	96	24.00	72.00
8位	荒武 雅子	49	48	97	24.00	73.00
9位	佐藤 征己	53	50	103	30.00	73.00
10位	山崎 勝英	40	44	84	10.80	73.20
11位	松田 利之	47	41	88	14.40	73.60
12位	上園 幸政	43	44	87	13.20	73.80
13位	土居 亀一郎	51	52	103	28.80	74.20
14位	花田 芳浩	44	41	85	10.80	74.20
15位	奥山 卓	47	49	96	21.60	74.40

【ニアピン】 No.5 長嶋 克佳・上園 かつえ
No.15 山口 公弥・松田 利之



とでしよう。しかし、心配された天気も何とか持ち直し、無事にプレーを終了することができました。

編集後記

◇会報の創刊号(2003年1月1日)によると校友連合会は、2001年6月7日に設立され、同時に「校友憲章」を制定したと記載されている。思うに、今年(2012年)で設立10周年になる。会報も今回で4回目の見直しとなる。組織体制の進化と活動の実態に即した改定は必要である。問題は会則の「目的」と「事業活動」に実効を上げるとともに、会則の運用には忠実でなければ校友から理解されないと思う。

◇校格の向上とは、教授の資質か、学生の資質か、卒業生の資質か、その他に何かがあるか、原点に返って時間をかけて総合的に再吟味が望まれる。

◇2013年からの「新卒業生組織」の再構築に向けて、その「絆」を母校愛と母校への貢献に軸足を置きつつ、推進することが校友として「自明の理」であることを考えたい。

(佐藤 敏夫)



西田あいさん歌謡ショー



荒武さんご夫妻と岩部会長



我が愛する母校大斉唱